

今月の卒業生 第一回

金森商船株式会社 代表取締役 渡邊 兼一さん (3回生)



創業から100年を超えて、更に新しい価値を提案し続けている金森商船株式会社。昭和63年に商業施設として金森赤レンガ倉庫をスタートし、倉庫業だけでなく、函館ピヤホール、ベイサイドレストランなどの森の運営等、多岐にわたります。

金森赤レンガ倉庫
<http://www.hakodate-kanemori.com/>

取材場所：函館大学ベイエリアサテライト
聞き手：柳原実貿易 高橋 和将(28回生)
撮影：ピクセルデザイン

「今月の卒業生」

函館大学卒業生の今を紹介する
記念すべき第一回目は
金森商船株式会社 代表取締役であり
函館国際観光コンベンション協会会長で
いらつしやいます 渡邊 兼一さんです。

―本日は本当に御忙しい所御時間頂き有難う
ございます。(取材日は7月22日)

渡邊：丁度観光シーズンの最中で少し来週は
GLAYのコンサートがあつたりと色々
とイベントがあつて忙しいですね。

―ここ数年は函館も様々な動きやイベントが
沢山ありますが。

渡邊：そうですね。北海道新幹線の開通や道
央道の接続等、函館が変化の時を迎え
ようとしています。私は函館国際コンベン
ション協会の会長も務めさせて頂いて
いるのですが、今後より沢山の方に函館
へ来て頂くために、更に観光力の強化を
進めていきたいと思っています。

―ここ数年は函館も様々な動きやイベントが
沢山ありますが。

北海道新幹線の開通により都心部の方
だけでなく北関東や東北の方々も沢山
いらつしやると思います。わざわざ羽田
空港まで行かなくてもいいですからね。
そういった地域と連携して御互いにとっ
てより良い形になつていければと思います。
―おらが街だけが良くなれば良いとい
言うものではないですね。

―もっと多くの方に函館に観光に来て頂ける
ような決め手になるポイントはありますか？

渡邊：函館と言えは文化や歴史、あとは食で
すよね。特に食に関しては安心安全で
美味しい食材がたくさんあります。
魚、肉、野菜、最近はお米なんかも美
味しい。今後は函館の食材を都心部に
送つて販売するのでは無くて、函館に来
たからこそ味わえる調理方法や見せ方
名物料理等をどんどん提案をしていつ
函館に實際足をを運んで頂ける様な強
みが出来れば良いと思っています。

―もっと勉強になる御話を伺いたいところですが
少し大学の話を伺つても良いでしょうか。

渡邊：私は3回生なので十勝沖地震で校舎が
全壊した時に在籍していたんですよ。
あの当時は応援団があつたり、学ランを
着て大学に来ている生徒がいたりまた
バンカラな時代でしたね。

この建物今回の取材場所は、私どもの
建物なのですが、現在は函館大学ベイエ
リアサテライトとして函館大学で活用
して頂いています。もつと在校生や卒業
者の方にも交流の場所として、利用して
もらいたいですね。

―本日は御忙しい中、貴重な御話を頂き有難う
ございました。